

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東陽倉庫株式会社相模原2号倉庫B棟	階数	地上3F
建設地	相模原市中央区田名字福岡3853-3の一部、相模原市中央区田名字豊原4133-3	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	15人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,880時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年4月18日
敷地面積	3,156 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱ 名古屋支社一級建築士事務所
建築面積	2,474 m ²	確認日	2017年4月18日
延床面積	6,886 m ²	確認者	名古屋支社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
LED照明を採用し、階高や耐荷重に余裕のある対応性、更新性の高い建物として計画している。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
	躯体+軽鉄+仕上材のデテールを採用している。
	LR3 敷地外環境
	過去の気象データにて卓越風向を把握している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される